

1. 件名：東海再処理施設の廃止措置計画に係る面談
2. 日時：令和5年3月8日（水）16時00分～17時05分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※一部出席者はTV会議にて実施
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部
審査グループ 研究炉等審査部門
細野安全管理調査官、上野管理官補佐、有吉上席安全審査官、小舞管理官補佐、
加藤原子力規制専門員
検査グループ 核燃料施設等監視部門
栗崎企画調査官
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
バックエンド統括本部 バックエンド推進部 次長
安全・核セキュリティ統括本部 安全管理部 施設保安管理課 マネージャー 他1名
再処理廃止措置技術開発センター 副センター長 他12名
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. 配付資料
資料1 東海再処理施設の廃止措置の進捗状況報告
資料2 ガラス固化処理技術開発施設（TVF）における固化処理状況について
資料3 放射性廃棄物でない廃棄物の管理、個人線量計及び積算線量計並びに分離精製
工場の受入基準に係る再処理施設保安規定の変更認可申請について
資料4 東海再処理施設の廃止措置段階における保全について
資料5 東海再処理施設の廃止措置等に係る面談スケジュール（案）

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	現象規制庁のカトウですそれでは面談、本日の面談始めさせていただきますと思います。早速ですけれども、本日お送りいただきました資料の論点に基づきまして順にご説明いただければというふうに思います。
0:00:17	まず、TVFにおける固化処理状況についてご説明をお願いします。
0:00:23	現行モリカワです。TVFの補正状況につきましては、監視部会合の方の資料2の方に少し進捗を踏まえて見直す箇所がありますのでそちらをもとに説明させていただきたいと思います。
0:00:39	警視案の方は35ページ目からになります。
0:00:44	前回の面談以降ですね、修正した箇所、青の枠で囲っておりますのでそこを中心に説明させていただきます。
0:00:54	36ページ目、はじめにということで両括弧3ですね、3号炉の更新。
0:01:02	につきましては機器の金戸試験に向けた設備機器の作動確認ですね、これは先週末、3月4日までに完了し、今週の月曜日から、
0:01:18	熱上げを開始しておりますのでそちらの方の実績を記載しております。
0:01:25	両括弧の両括弧をこちら原因調査につきましてこちらの資料の後半の方である程度原因調査の原因の推定と対策を、
0:01:37	を記載しておりますので、その記載との整合を図る観点ではじめにというところの記載も、
0:01:44	原因調査の推定、対策案を具体化しております。
0:01:49	両括弧4のところですね、以下推定してるってということで二つポツ書いてます。こちらの後の記載の通りなんですが、
0:02:00	今度は凝集した金属元素ですね、こちらが堆積してしまうと現状の除去作業では、
0:02:09	残って、除去しきれずに、通電経路が形成されると考えていると。この通電経路を2E電極間電流待つ支援強化について影響及ぼす、
0:02:20	固定系斜面上部に形成されると事務局での市場の中で、
0:02:25	衛生局間抵抗が早期に低下したものと考えていると。旅客の対策としては、
0:02:31	経営管理手法や検知方法の改善、あとは除去方法やの手順、終了判断、所長会を図っていくことを検討しているという形で、
0:02:41	て記載をし直しております。
0:02:44	参議りー8ページ目のところですね3号炉のところの記載両括弧3。
0:02:51	丸井のところで作動試験につきましては作動確認ですねカレット試験、につきましては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:58	3月下旬に行うということでこちらの方の記載も実績に合わせて見直しております。
0:03:08	あと39ページ目フローにつきましては前は実施中というような記載で点線で枠を囲っていましたが、
0:03:17	今日その流れの作業を調査を進めておりますので一応ここの中からの点線というのは削除して、
0:03:28	次のページのスケジュールのところ40ページ目。
0:03:33	こちらの佐藤律時点での進捗線を入れております。基本的には原因調査の絞り込み、
0:03:42	2月中ぐらいで終了し、シナリオ推定と原因の推定まで大体終了しております。今対策の立案ということで、
0:03:53	除去装置の除去の手順でありますとか、運転干渉の検討を、あと一番最後ですねカラーカレットした後の回答試験を進めている、そんなような状況です。
0:04:06	あと、追記させたところは、47ページ目になります。
0:04:14	こちらの方、法令の表現に、高濃度の白金族元素が堆積して残留してる可能性ということで、
0:04:24	その前の要因調査のところを分析調査の中で、もう少し記載した部分ですね。
0:04:31	そこを資料として1枚追加しております。
0:04:36	こちらの方のポイントとしては、レ点の三つ目になります。前回は清ご説明しましたが21-1のキャンペーンことレイアウト後の西側の提携斜面上部に確認された残留ガラス中の白金族濃度、
0:04:53	これは除去中にサンプリングした資料で堆積物の表面で80%を、
0:05:04	内部の方ですね、15%と。
0:05:07	表面に比べて発電所の内部
0:05:12	まで高くなるような傾向であったと。
0:05:15	四つ目の点ですねこの西側の底傾斜部上部に確認された残留ガラスのレンガ表面の白金族濃度は、
0:05:24	非常に高くなったものと考えられており、残留ガラス除去作業の仕上げに用いるニードルスケラーでは、
0:05:32	これらの除去し切れない可能性があるということで、下の写真はこれ
0:05:38	別の資料ではありますが白金族濃度の違いによる
0:05:43	観察結果ですね。で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:48	残留するガラスにつきましては金属の高いガラスで、このような粒子が絡み合った状況で密集している状況ということで、このような高濃度の
0:06:00	白金族を含むガラスについては、
0:06:03	なかなか除去しきれないような可能性があるという形で資料の1枚追加しております。
0:06:11	当方49ページ目。
0:06:14	コールドの試験モックアップ試験をついた発議の確認結果で前回コメントがありますの。
0:06:22	切り込みのところですねこちらについては、
0:06:26	写真の上のところですねの青枠の中ですね。
0:06:32	サンプルを取り出して観察を行うために前例がに切り込みを入れてということで、このはつりの試験終わった後このをサンプルを切り出してる
0:06:40	と。
0:06:40	いう意味でブロックごとに切り込みれたということであとその下真ん中のところの写真については、
0:06:47	それぞれ1分3分5分後という形しか書いてなかったんですけど、ニードルスケラーには研り1分を三分後という形で何によって行ったかっていうことを記載してます。
0:06:58	最後盤面観察、前回口頭で回答しましたが断面観察はしておりますのでその結果ですね、
0:07:06	のSEM観察を載せております。1分の
0:07:11	表面、少し白っぽくなったような写真に対して、実際監査してみると、ガラスが1ミリ以下ですね薄く残っている状況。
0:07:20	3本5分をこちらはほぼガラスが残っていない状況ということで、
0:07:26	ここまで来ると
0:07:29	ガラスが全部外れてるんですけど、今回の除去作業では1分後ぐらいの状況ですね。
0:07:35	こちらで除去終了している可能性があるってことで薄く形が残存してるんじゃないかというふうに考えている。
0:07:43	でございます。
0:07:45	これ以降の資料は、特に追加しておりませんで59ページ目最後に炉内観察結果ってということで、こちら参考なんですけどこれも前回の会合等でお示ししますが一応参考で資料を添付しております。
0:08:00	追加こうしたところの資料は以上となります。説明は以上となります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:07	原子力規制庁の加藤です。すみませんちょっと確認させていただきたいというのがありまして40ページのスケジュール見てると今後、
0:08:16	シミュレーション解析っていうのや、継続してやりますよっていうことになってるんですけど、このシミュレーション解析っていうのは具体的にどういうことをやるのかってのを教えていただいてよろしいですか。
0:08:29	はい。議長向後折笠。
0:08:32	これにつきましては、次の3号炉での運転に向けて、その3号炉のその炉内の温度分布でありますとか、そこら辺のデータをシミュレーションで解析していくと。
0:08:50	いうことを主に考えているところでございます。
0:08:54	規制庁の加藤ですけれどもこれは3号炉のシミュレーション解析をすると、いうことなんですね。
0:09:06	これまでの現地調査のシミュレーション解析を並行して進めておりましてそこはある程度その結果が出ておりまして、あと3号炉の今後のその運転に向けたですね、今回の原因を踏まえて、
0:09:19	もう少し3号炉の評価を今後も引き続き行っていくというような考えでございまして。以上です。
0:09:28	規制庁加藤ですわかりました。
0:09:30	チコ原因調査するこの資料の今の1、1図形のところなんですけれども、我々、原因調査のこれなんか中間報告みたいな位置付けなのかなと思って話聞いてたんですが、
0:09:44	もうそれは何かあらかたもう何か、
0:09:49	この
0:09:50	例えば、例えばとか、今回はこのシナリオだっただろうという推定のもと今後、対策を、
0:09:57	していきますっていうふうな資料に見えるんですけど、このこの資料の位置付けってのはどういう位置付けなのかってちょっと教えていただいてよろしいですか。
0:10:06	はい。一応ですねシナリオのついてと原因について2月末ぐらいまで取りまとめるということで、今までのいろんな
0:10:17	調査を踏まえると、今の報告通り大体のシナリオ原因の推定っていうのは、
0:10:27	等を把握できているのかなということで、それに応じた対策を今後引き続き行っていくという形で今考えておりますので、大体

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:39	シナリオ原因の推定はほぼ固まったような状況で今回報告させていただきたいというふうに考えております資料です。
0:11:16	規制庁加藤です。理解しましてありがとうございます。
0:11:20	すみませんちょっと細かいところで、指導して欲しいんですけども、
0:11:25	衛藤。
0:11:26	追加してもらった47ページで、
0:11:33	ですから15分%と白金族濃度が高くなると、斫りしづらくなるみたいなことがあるんですけどこれ、
0:11:45	白金族の濃度によってガラスの物性みたいなのも変わってくるっていう理解ですか。
0:11:53	はい別所そうですね。
0:11:56	溶けてるときでありますと白金族濃度が高くなると、粘性ですね、かなり上がって、当然動きにくくなるっていうことでこれ固まると。
0:12:09	バラ数だと簡単にあれって剥離っていうか取れやすいんですけど、はっきり濃度が高くなると、が乱数室っていうよりも少し何ですかねなかなかガラスガラスのような形でファツリーがしづらくなるというような状況なので、
0:12:26	そういう意味で少し物性も変わって、抜け出しにくくなったりハツリもしにくくなったりっていうような状況となっております。以上です。
0:12:38	加藤ですわかりましたありがとうございます。
0:12:43	規制庁側から何か確認しておきたいことがありますでしょうか。
0:12:56	49ページ。
0:12:58	ウィングスケールある斫り日本語と書くと、発言さを終えてから1分というふうに、なんか読めちゃうので、これそそうじゃないかってのはちょっと書き方変えたらどうですか。
0:13:12	医事課、そうですねはつりを一部行ったのですね1. 三分後じゃなくてそうですねハツリ時間1分という形がちょっとここ記載すみせん見直します。はい。それだけです。
0:13:38	すみません加藤です。ちょっと確認、確認なんですけども
0:13:43	36ページに、(4)で、
0:13:48	推定するシナリオみたいのを書いていただいているんですけど。
0:13:53	これあれですかね上、上の方に白金族が溜まってその通電経路ができてしまうと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:59	ただ、その炉底低温運転をしても、そのは主電極間の電流が流れている状態で、予定の傾斜面の上の方 2 行電流がこういう多く流れてしまうのパスができています。
0:14:12	その部分が厚くなって、そこに白金族の流動性方、部分ができてしまって、てこどンドン溜まってってしまうっていう理解なんですけどそれ以外やってますか。
0:14:25	やっぱそうですその通りの理解で間違っていないかなってありますので、今言ったように前回、21 日のキャンペーンも同じように西側提携斜面上部に溜まってそのまま運転継続作業としてのその部分ですね、通電して温度が上がって流動変わって、
0:14:43	そこに発見がたまりやすくなったという状況で今回の運転も同じように西原提携斜面上部に通電経路があったので、
0:14:50	同じように温度が上昇して流動が変わってパレスになったっていうそのような考えで堆積した推定原因を推定しております。以上です。
0:15:00	形状カトウですわかりましたありがとうございます。
0:15:06	他よろしいでしょうか。はい。
0:15:09	すいません加来管野栗崎です。
0:15:12	すいません原因の中で、白金族のところちょっと薄く残ってるところで、それがあったために、対策として、その除去手順とか、そういったところを変えますよ。改善しますよっておっしゃってるんですけど。
0:15:29	この辺って何か具体的 2 なんかこう、
0:15:34	実際にこう、こうしますっていえるようなものっておありになるんですかね。ちょっとそこのところ、感触をお聞きしたくて、あれなんですけど、ちょっと先走りですみませんけど、
0:15:46	ちょっと何か調書の 53 ページ名に、対策今変な対策をちょっと示しております。基本的には今回の主電極間通電に影響ボス市ですねそこには白金族を堆積させないようにするというので
0:16:07	このロックの底にたまってる分にはあまり影響しないんですけど、その上部にたまってくると。
0:16:15	影響しやすいってなるだけ労働層厚でたまった段階で運転レイアウトに移行すると、そういうようなことがまず一つ対策と考えておまして、今度その他
0:16:28	てしまった場合ですね、これについては全部を綺麗にトレン画面まで持つことは、多分かなり時間もかかりますので、主電極間常にスイッチ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ですねここにやっぱり今回のように白金族濃度の高いガラスがたまって しまうと。
0:16:49	通電経路となりますので今まではそのレンガ表面
0:16:54	少しを傷つけないようにガラスを残した状態で、除去を終了してたんで すけど、少しレンガ面が出るぐらいまで、
0:17:04	除去を進めてその残留してる量ですね残留なくすとか全部やるのか、あ る程度の部分的にはつって、通電経路を遮断すとか、そのような言い 方が、
0:17:18	あるんじゃないかということで、実際その手で除去すると、綺麗に外れ るのはわかってますので、それを実際その除去装置ですね。
0:17:28	これ1制御しながらやっていますので、そこをどのように管理していくか っていうところは、
0:17:34	これまでのコールドの試験等を踏まえて少しその手順とかを見直すこと で、対応大丈夫じゃないかなというふうに今考えております。以上で す。
0:17:44	はい。なるほどわかりました。ありがとうございます。
0:17:48	規制庁ことですいません確認ですけど49ページの、はつりの、この写 真の時のはつりの方法ってのはこれは家でやってるんですか。
0:18:00	減少項目そうですねこれは手で、状況を見ながらやっています。そうす ねこの場合は、一応決めてそこで動かないような形にするので、それ以 上進まないんですけどこれ人の手でやってるのでどうしてもやっぱり
0:18:17	済んでしまって、レンガ面まで綺麗に外れてしまうというのがあります ので若干
0:18:22	実際の工具の使い方と、この使い方が違うので、さ、こないだの、実際 3分とか、言ってたと思いますけど、三分経っても多分その、今回のそ の写真の1分ぐらいの状況が、
0:18:36	起きてたんじゃないかなということでこの作業時間を長くするとか、
0:18:43	さっき言ったその1ですね、もうちょっと例がぎりぎりまで行くとかち ょっとそのような言い方で対応することで、
0:18:51	発意の方は改善できるんじゃないかなというふうに思っております。以 上です。加藤ですわかりましたありがとうございます。
0:18:59	いやすごく経緯取れてるんで、これぐらいだったら大丈夫じゃないかと 思ったんですけど、そこだったんですね。わかりました。ありがとうございます。
0:19:06	はい。他よろしいでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:11	はい。はい、ありがとうございます。それでは続きましてですね、工程洗浄進捗状況について、お願いします。
0:19:21	はい。泊笹野ナカムラです。それではこの低線量の状況につきまして、口頭で報告させていただきます。
0:19:30	水 3 月 1 日以降の状況でございますけれども、低濃度のプルトニウムの取り出し準備におきましては、走行制御の I K を使った正規操作訓練、いわゆる習熟度向上のための組を、
0:19:42	3 月 6 日までに終了し、現場の点検等やすしの準備はすべて終了している状況です。
0:19:48	あと手続きとして残っている計量管理規定の変更につきましては、1 月に規制庁に申請し、現在庁内での承認手続き中で、3 月中旬ごろ、
0:20:00	今週末もしくは自主ぐらいには人気をいただけるという見込みだと聞いております。とか、経理パリティの認可後には、すべての準備が整ったことを施設管理部長が確認しまして、
0:20:12	3 月 22 日の水曜日には、低濃度のプルトニウム取り出しを開始する予定です。
0:20:18	工程洗浄開始までには、作業を回収するものを、連絡させていただくとともに、現地規制検査官にも状況を説明し、安全に進めていきたいと考えております。
0:20:30	あと上の取り出し済みにつきましては現在早期系統の健全性確認を継続しているところであり、計画通り順調に進んでおります。以上今般ですが報告させていただきます。
0:20:42	ありがとうございます。一応、クリタについては計量規定の認可待ちということですかね。
0:20:51	はい、そうなります。はい。ありがとうございます。
0:20:56	はい。規制庁側から何か確認等ありますでしょうか。
0:21:01	よろしいでしょうか。
0:21:02	はい。それでは続きまして監視委員会後の資料のご説明に入っていただきたいんですけども、本当に説明を受けておりますので修正、
0:21:13	した箇所ですね、についてご説明をお願いいたします。
0:21:18	はい、それでは原子力機構オカノよりご説明いたします。報告方については、主には表のところの部分で確認できますので通しの 8 ページの方をご覧ください。
0:21:30	まず、両括弧 1 のガラス固化についてです。※1 のところになりますが、前回は予備品を準備して最短で復旧できるように改善を図るという

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ところで記載させていただいたんですけどもより詳細にわかるように、部品だけでなく、
0:21:45	ユニットとして予備費の準備シートということで記載を改めさせていただきました。続いて両括弧2のところになります。事故対象設備のは、せや整備ということで
0:21:56	片括弧にタイトルつけさせていただいたんですけども、土地の整備を今やってるところですので、わかりやすいように事故対処関連ということでまとめさせていただきました。
0:22:06	あと備考欄のほうになります※3のところになります。資材のチョウノウキ化というふうに記載していたところをよりわかりやすい表現ということで、資材の調達期間の長期化ということで修正させていただいております。
0:22:20	続いて両括弧3の工程洗浄のところについても集中的な直しになりますが、
0:22:27	鳥居駅についての文章と、今後ということで区切らせていただいて令和5年度の取り組みについて、工程洗浄では5年度内に完了するというところで文章を修正させていただいております。
0:22:40	その他については、スライド、
0:22:44	大城講師の13ページになります。
0:22:47	13ページのところで事故対象設備資機材の保管場所の整備というのが3、3月に終わりましたのでこちらの方をハッチングさせていただきました。
0:23:01	あと、L W T F 関係ということで、29ページ39さ、
0:23:06	28ページ、3、29ページそれぞれ、点線、青点線で囲った部分を修正させていただきました。変更点は以上となります。
0:23:18	市長カトウでのご説明ありがとうございました。ただいまの説明につきまして確認質問等ありますでしょうか。
0:23:30	植村です。L W T F の準備状況なんですが、これと、
0:23:40	実機能。
0:23:42	試験装置の工程については、
0:23:55	今年はできなく側で、
0:23:59	制度着手まで至ってなくて、令和6年度ん間に内に、
0:24:06	作るっていうことになってんですかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:11	はい。表の方でご覧いただければと思いますが、講師のページ8ページになります。W t分については※5のところに記載させていただいております。令和4年度についてはですね、
0:24:23	臨床プラント起動試験装置の製作設置の完了には至らなかったもので、今後可能な限り早くですね試験装置の製作設置を進めて令和6年度内にはですね試験に着手するところまでを目指すということで考えてございます。
0:24:42	以上ですと、なので令和4年度は、ということはガラスを優先したってということで、
0:24:51	あるんですが、そそのんであと、
0:24:55	来年度中、今年中に、
0:24:58	できるって言った方が、ちょっと2年、2年先延ばししてるんですけど、
0:25:04	来年度の何かそのガラスとの関係で、
0:25:07	進捗が見込めないってということなんですかね。
0:25:13	転職評価のです。来年度についても引き続き、製作設置に向けた取り組みを進めた上で、試験に対しては令和6年度になるということでお考えいただければと思います。
0:25:29	そうなんだけど、ちょっとあんまり、
0:25:35	ももとの今年度できるって言ったのがちょっと無少しなんだろう、見積もりが甘かったってということなのか。
0:25:47	どう。
0:25:50	来年度以降の
0:25:52	ガスを優先して、
0:25:55	ていうが、特に
0:25:58	何か
0:26:01	要は遅いって話が遅い。
0:26:04	遅い。
0:26:08	はい、原子力評価のです。ご指摘のところはもっともっと理解しておりますが来年度以降ですね可能な限り早期に設備の成立性を確認していくために、しかるべき予算を確保したりしてですね、支援を当てて製作設置等試験着手を令和6年度の末というところを進めていきたいと考えて
0:26:28	おります。こっち側の話だろう。
0:26:32	技術課が

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:35	ですね。
0:26:37	予算の話。
0:26:42	すみません。資料を確保した上で
0:26:49	わかりました。
0:26:52	ありました。そういうふうによく教えてください。
0:26:58	書記候補なので承知しました。
0:27:03	最よろしいでしょうか。
0:27:06	はい。規制庁加藤ですけれども資料2は先ほどご説明いただいた通りで、資料の3について何かありますか。
0:27:16	資料3は先週から変更ございませんので説明をお伝えさせていただければと思います。
0:27:23	規制庁カトウですわかりましたありがとうございます。最後の資料は、ごめんなさいちょっとこちらからコメントがあるようなので、ガラスバッチの外部委託っていうのは、
0:27:37	実際はいつごろからとか、何か予定があるんですか。
0:27:49	はい。さっき臨床開発の個別で予定は令和5年度の10月からということです。はい。
0:27:57	はいわかりました。
0:28:03	よろしいですか。規制庁加藤ですそれでは、資料の4のご説明をお願いいたします。
0:28:13	本籍推進室田口よりご説明させていただきます。通しの63ページ資料の4ということで、
0:28:22	10日影響解析の配布時段階における保全についてということです。
0:28:27	国の方概要にありますように、前回の監視チーム会合におきまして保全に関して説明を行ってください。定型的な更新交換等につきまして許認可検査等の何が課題となっているのか具体的な整理を行う
0:28:46	必要があるという部分をコメントいただいたことから整理したものでございます。
0:28:52	のところ以降にその課題等を示してございます。
0:28:57	廃止措置計画の認可を受けて以降、再処理施設におきましては安全対策工事、安全対策に係る工事であるとかTVFの溶融炉の工事といったものを除きますと、
0:29:12	高経年化した設備の更新交換等に関わる工事を実施しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:18	その際の許認可の可否の判断につきましては①対象施設の位置付けということで性能維持施設に該当するか否か、②として本市工事の種類、設置及び改造に該当するか否かで判断していますが、
0:29:35	それぞれの判断基準に一定のありましたといったものを含んでいることから、廃止措置という状況。
0:29:44	そういった特殊性から許認可を要する判断を幅広にとらえてきたということもありまして、廃止措置段階にもあるにもかかわらず、工事に関わる許認可といったものが多くなっているという状況でございます。
0:30:03	①②とあるもの、それぞれについて観点で課題等を整理いたしました。まず①として、
0:30:13	対象施設の位置付けということで現状どうなっているのかということをもたまたここ1に示してございます。
0:30:20	1ポツ目にありますように、廃止措置への移行後につきましても、放射性物質の処理処分貯蔵といったものを継続する必要があること。
0:30:32	あとは変えて、最終可能核燃料物質等を取り出すためのために再処理設備の一部の運転というものが必要だと考えられたことから、
0:30:43	廃止措置への移行後におきましても、再処理運転時に維持した施設の大部分を性能維持施設として位置づける必要がございました。
0:30:53	当時は新検査制度の施行前であったことから、詳細な点検項目との繋がりとといったものを重視した選定を行っておりまして、
0:31:04	排出計画の認可の審査の方の記載を踏まえて、再処理運転時の定期検査等の対象施設の大部分を性能維持施設としております。
0:31:19	2ポツぐらいにありますし、2ポツ目ですが
0:31:24	性能維持施設の選定等元としました再処理し、運転時の施設定期検査等につきましては、検査対象が設置承認申請書等に記載した条件において、
0:31:37	確実に作動することの確認であるとか、設置承認申請書に記載した性能能力を満足することの確認というものであったために、
0:31:48	4、66ページの方に行きましてええと、
0:31:52	ケンパンがここで要しない貯槽、配管と財政的な機能動くものについては性能維持施設として明示しておりません。
0:32:02	この場面も検査対象としております。フゾクの計器類の測定結果、液位計であるとか漏えい検知装置等によりまして間接的にその健全性を確認し、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:17	直接直接的な検査項目を持たない貯槽等につきましては、製造実績として明示しない事となっております。
0:32:26	パターン、
0:32:29	施設定期自主検査の対象等を含む系統というものは性能維持施設とするものを廃止措置計画の方に記載しておりますが、重要度の高い、
0:32:39	配管ダクト等はこれに該当するものでありますが性能維持施設として明示していないというものです。
0:32:48	3 ポツ目になります。排出への移行後につきましては、性能維持制定の該当というのが協議会合否の判断基準となっております。
0:32:58	そういうそれをもに従って許認可の要否を判断しているというところですね。
0:33:04	ただし排す性能維持施設として明示されていない明記されてない施設についても、
0:33:11	うちの事情から、改めてこの設工認の記載内容等に照らして、要否の判断を行っているという状況です。
0:33:21	こちらの方に対する課題ということを囲みに示してございます。
0:33:28	現在の製造実績というのは、最初の4点での安全上重要な施設とどう同程度の重要性を持つ性能実績から、
0:33:40	運転をほぼ終了した汚染した設備を媒体まで安全に保持するといった比較的重要度の低い製造技術まで、
0:33:49	幅広く選定を行っております。
0:33:52	これらの施設群に対しまして性能維持施設、タイマーカット1.7%月の判断基準を用いて、協議会を判断する枠組みとなっているため、
0:34:04	重要度が比較的低い施設日に関する、
0:34:09	工事についても一律で強化が必要と判断せざるをえない状況となっております。
0:34:15	これらにつきまして途上での低い設定性能施設の割合というのが比較的多く、さらに廃止措置が進捗することによりまして、各施設の重要度というのは低下していくということで、
0:34:29	今後協議会の中で重要度の低い施設に関するものというのは増加していくことが予想されます。
0:34:39	3 ポツ目ですが、初回のたちの製造施設の選定におきましては直接的な検査対象を持つ施設を重視した選定時サイトになっておりまして、
0:34:51	慢性的な施設等が明記明示され、明記されていない。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:56	性能維持施設に附属する系統の範囲が明確化されていない等がありまして、認可の許認可の要否の判断基準として用いるには、一部に、
0:35:08	体系化は説明の不足というのがございます。
0:35:13	これによりまして、政務県民会議の判断において曖昧さが生じているといったような場合がございます。
0:35:20	もう一つの軸であります②工事の手技につきまして現状というところですが、
0:35:28	現状は認可審査の考え方の記載に基づきまして、先ほどのを示したような性能維持施設の工事について、許認可対象としております。
0:35:41	2 ポツ目ですがその際審査の考え方に記載された施設の改造または設置について、具体的な部分は、分類が明確でないというため現状では、保安規定で、
0:35:57	定めている部品交換等に該当しないものはすべて許認可対象として判断しております。
0:36:05	65 ページの方に行きまして、ただしそのような運用におきましては、
0:36:11	設計上交換を前提としている設備、例えばTVFのインセルクーラーの電流金等といったようなものについて、
0:36:22	同様の許認可申請を繰り返し行ってしまう、しまっていたということから、交換における許認可申請に今後、営業の効果については、
0:36:33	奥瓜生の効果を行うこともあわせて申請して認可を取得するといったような、ということをやっております。
0:36:42	また（イ）で課題の方を示しておりますが、認可の審査の考え方の施設の改造及び設置というのは範囲が、
0:36:53	の明確化がされていないということでこちらの方、
0:36:58	日曜日の規則における別表1のような、明確化がなされていないということから、
0:37:05	施設の設置や改造といった比較的重要度の高いものから既設と運動経費への交換構成といったような、比較的重要度の低いものまで、
0:37:16	市政の移設に係る工事については工事の種類によらず、一律で許可が必要と判断せざるをえない状況となっております。
0:37:28	また
0:37:30	設備の主要の仕様の変更等ない工事におきましても、去年加地に安全性に直接関係ない細かな記載というのを設工認等に行う、記載しているというものがあるため、
0:37:46	厳密な照合を行って、同等性を判断すると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:52	本来は議員活動、県民課と同等と判断される工事についても改めて、協議会を出し直すことになっていた可能性があります。
0:38:03	また、今後施設の高経年化に伴いまして、更新交換補修等の工事の頻度が増加するといったことが想定されまして現在の運営を継続した場合、
0:38:14	許認可の件数も増加することが想定されるということです。最後にまとめということで上記の課題の解決の方策として2以下の検討を進めるといって意見を書いてございます。
0:38:29	狭い自説の記載につきまして、一部の体系化は説明の不足があるということから、排出段階における個々の施設の重要度の整理、
0:38:40	衛生的な機能のみを持つ施設の記載の仕方、説明の充実及び再形態に向けた検討を行って参ります。
0:38:50	もう一つとして実用炉規則の別表第1というものを参考に、性能維持施設の重要度高工事の種類、程度をそれぞれ、
0:39:01	評価軸として考慮できるようにしましてその二つの評価軸の組み合わせにより求めた工事の重要度といったものから協議会費の判断を行う仕組み等について検討して、
0:39:13	提案を行っていきたいと考えております。
0:39:17	説明の方は以上となります。
0:39:20	建築課長の加藤で説明ありがとうございました。ただいまの説明につきまして質問等ありましたらお願いします。
0:39:29	よろしいですね。
0:39:33	これ逆に
0:39:34	整合的施設で、重要なものがね、抜けてるんじゃないか、もともと。
0:39:41	計そういう条件、そういう何か背景があって、
0:39:45	今の状況で、無理やりなんちゅうか、
0:39:50	こういう許認可の対象を選ぼうとするときに、何か基準がね、すぐ伯太。
0:39:57	ということになってないですかね。なんかそんな印象を受けたんですけど。
0:40:03	はい瀬下家です。確かに重要なものということで例えば貯層窓、静的な機器というのは重要な機器だと考えておりますがそれらが明示されていないと、というようなものを着、
0:40:18	ことになっております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:20	これから重要だ、重要度にエラー根拠して考え直すんだったら、1から考え直したらいいんじゃないすかと仕事のようなコメントして申し訳ないんですけど、
0:40:35	はい、推進策です。すいません以前
0:40:40	そのような話もありまして、申請の30年度初めて認可を行った時に生命維持施設の方の見直しというものを、
0:40:51	計画しておりました。その際に、性能維持施設については、当時の定期検査の対象で、すべて性能維持施設はすべて定期検査の対象であるといったような、
0:41:05	解釈の方がなされて、性能維持施設を非常に詳細化していくと、それに対する定期検査、現在であれば、定期事業者検査がもう必要が出てくるというようなところで、
0:41:19	ちょっと一旦、そちらの方の申請を行わなかったというような経緯がございます。
0:41:29	いや、ちょっと経緯があるんですねっていうのは、わかりました。はい。でちょっと今回ちょっと改めてそういった図、
0:41:39	衛生的な施設について、どうしていくのか、例えば
0:41:45	静的な施設対について一対一の検査を行うわけではなく、
0:41:55	定期事業者検査についてと後、事業者定期事業者検査との関連といったものを整理して、
0:42:06	実勢的な設備の検査というのをいたずらにふやしてもあまり合理的ではないというところがありますのでその検査と、制度維持施設の関係といったところも含めて検討を進めていきたいと考えております。
0:42:20	広報みたいな、
0:42:24	ちょっとこの解釈のところがやっぱりありまして性能維持施設イコールすべてその計器、事業者検査の対象であるというところは
0:42:36	ちょっとほい。
0:42:38	貸借が入るのでそういったところについても、ちょっと
0:42:42	ご意見を伺いたいという相談させていただきたいと考えております。
0:42:48	すいません。処理センターを若林少し補足させてください今田口の方で申した後、
0:42:55	生の移設重要な施設が抜けてるんじゃないか。の回答についてなんです が確かに

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:01	記載、記載の内容として、見た目例えば貯槽、例えば高放射性廃液の貯槽ってというのは非常に重要な、当然性の移設ですよってということは皆認識されてると思うんですが、
0:43:15	磯藁谷の申請書の添付6の表、こちらの方個別で見ますと
0:43:23	見方によっては本社精査廃液貯槽についている液位計が性能維持施設というふうに見えるような形になっていると。実際なぜそういう立て付けになっているかという、その運転時に、
0:43:36	定期検査をやったのは所長本体そのものではなくて陳述に繋がっている機器、こちらの健全性を確認することによって、間接的貯層。
0:43:46	から液が漏れたりして内容は閉じ込め性能が損なわれていないということを確認していたと、除染そのもの放射線が非常に強いセルの中に入ってますので、1年に1回やるような点検で人が入って、A調査するというのは事実上不可能。
0:44:04	なので再処理施設の特有のそういった関係の中でそういった計算方法をやっていると、ということなんで、結局はその表の、の記載の読み方。
0:44:15	がですねあまり説明書きもなく書いてあるので、北朝鮮てしてた人間はそういう読み方をするんだよというのはわかるんですが、だんだん中身がわからない人が初めて見るとちょっと塑性的設備がごっそりなんか抜けている。
0:44:30	そういった計器類、細かい計器類ばかりが性能維持施設なんだというように形に読めてしまっているというのが少しこの中で、説明が不十分、或いは体系化されてないと考えているところです。
0:44:44	そういった今の栄の家にその設工認の判断をするときに、ちょっとぶれが生じたりしてしまうというところでございますこちら確かに我々の方の問題点でございますので
0:44:59	まとめの(1)に示したように、今後工程洗浄産業向けて、また年後にはかなりのものがもう、
0:45:07	本来の役割において解体、
0:45:10	を行う対象になるということから次の五つの解除というのを考えてございます。そういったときに金玉下ろして整理しようと考えているといったところでございます。
0:45:24	だから、あれですねリスクと重要度っていったところから、ちゃんと整理し直して、すでに検査できないものは仕方がないんだけど、
0:45:34	そういった大事なものをどうやって検査していくかとあわせて、国会再生しないと議論が進まないということでしょう。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:43	それはおっしゃる通りです。だからその一言で終わっちゃうよね。うん。いやそれをまずやってやった上で、もう1回じゃどうしますかっていう議論をしないと。
0:45:54	今日何かいろいろ悩んでる最中部分を示していただいても、多分これ以上コメントしようがないといったところが、多分こちらの感想なんです。はい。
0:46:06	はい。すいません。ちょっと言い方が悪かったかもしれません。いやいや、タグチさんが強いタグチさんらしいよ、ペーパーン。
0:46:21	はい。
0:46:23	以上です。以上です。はい。性能維持施設についても整理というのは前回の公開会合の資料にも記載してる通り課題だと思っており、そちらの方の見直しを行っていく予定です。はい。はい。
0:46:41	来てることですけれども、今の議論でいうと
0:46:45	今回検討すべき規模になったのはやっぱり、まずその歩田内さんが用意していただいた神野。
0:46:53	日本の①の、まず対象施設の位置付けてというのが非常に曖昧だというのはまず、
0:46:59	大前提としてその問題、根本的な問題としてあるということがわかりますので、まずそこをしっかりとちょっと整理していく必要があるっていうことを、
0:47:11	ちょっと課題として共有して、その上で、なんつうかね保全の問題もありますよってことだと思うんで、ちょっとそういう方針で、これからちょっと議論を進めていきたいと。
0:47:23	と思いますが、
0:47:26	いかがでしょうか。
0:47:31	すいません。推進スタッフです。確におっしゃられる通りでもあるんですが、一方、我々が今から高放射性廃液の更新を行うのかと。
0:47:43	更新交換を行うのか保存を行うのか、そういったときに許認可を出さないということがあり得るのかというような話もありまして、以前この話が、
0:47:55	スタートしたのも、比較的育成のグレードの低いものについて、許認可を不要にする合理化するというような図面で、
0:48:05	仕組みがないのかというような話からあったと思うんですちょっとその自由なものが抜け、
0:48:11	抜けているって市場の子、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:13	グレードの高いものが入ってないっていう。
0:48:17	ほぼ確かなんですが、ちょっとそこところは仮に着目してしまうと
0:48:25	目的から外れてしまうのかなと思う考えますとですけども、当初の目的は目的としてあるんですけどもそれを話をしていく中で、そもそも
0:48:37	性能維持施設の位置付けっていうのが曖昧だっていうことがそもそもの問題であって、まずそこをちゃんとはっきりしないと、その機器の交換に対して、設工認レベルの申請が必要かどうかっていうのはそもそもその
0:48:50	前段が曖昧なんで、整理できませんよねって話が見えてきたのかなっていうふうに思ってるんですけど。
0:48:58	そうだよな。
0:49:00	検査方法はそれに付随するものじゃないんですか。
0:49:04	その性能維持施設をどうやって見るのかと言ったときに、誰も高放射性廃液の貯槽の近くに行って、 IS やれなんて言いませんわそんなもん。
0:49:15	だから、さっき中林君が言ってくれたように、液位計で見てるでしょ。それで、これがないことを確認してるって漏えいがないことを確認してるっていうことですよな。
0:49:26	だから順序逆じゃないかと。
0:49:29	谷田部さんはお前もいつも通り心配が心配だっていう手紙を書いてくるんだけど、そうじゃないでしょっていう、いう話をしてるんですけど。
0:49:42	はい。承知しました。
0:49:53	でいいんだよね。栗崎さんでいいと思います。
0:50:00	はい。
0:50:02	検査できないから性能維持施設はないと言ったところが、一番がそれ違う、別に検査するしないじゃなくて、まず政務比率じゃないかというところからやらないと。
0:50:15	できるところだけの合理化みたいなところだけ言われてもようわからん。そう。そう。
0:50:22	代替手段は何か。
0:50:25	大体の計算手法は何かっていうのを見ていくっていう、例えばループ試験で見るとちゅうのもあるかもしれないですね、もう一気にん。
0:50:33	仮系統だったらね。
0:50:35	それは何か。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:38	定期事業者検査項目として、け規制検査の方と相談をされればいいわけであって、
0:50:48	そういうことですよね。
0:50:51	だからちょっと何か順序が違うんじゃないかなって感じがしました。
0:50:59	心配はわかりましたよ。いろいろ心配なのは、
0:51:03	わかりました。はい。
0:51:14	見たいか。
0:51:16	ごめんなさいちょっと蛇足の情報かもしれませんがやはりそういうそういう話が初回の認可後にもありまして、結果としてはやっぱり
0:51:26	室長代理施設を細かく充実させていくと、検査が増える合コン定期定期検査定期事業者検査定期自主検査の項目が増えるような方向に行って、
0:51:42	運転上今やっぱり増えるのはおかしいんじゃないかみたいな話をすいません帰責性だという筧さんの方からしゃべって、ちょっと、
0:51:51	諸所詳細化をやめたというようなちょっと経緯がございますすいません。
0:51:57	補足です。
0:51:58	それは規制庁の方から、
0:52:01	そういうことをすると検査受けたらやめたらって言ったってことですか。
0:52:08	はい。推進室タグチです。当時は定期検査がまだ行われていた時代なので、
0:52:16	検査班の方からも運転中よりも検査項目が増えるのはおかしいんおかしいんじゃないかというようなコメントをいただいたというふうに思います。
0:52:27	30例ってもう廃止措置入ったんだっけ、30年に1回。
0:52:35	相談の前に、男性の意識の整理の話があった。
0:52:41	何かそれ。
0:52:44	ちょっと印象で言うと、
0:52:48	基本的にはさ、別にいいと思わないけど、
0:52:54	規制庁後ですけど推進スタッフです。ここにされた。どうぞ、どうぞ。はい。
0:53:00	推進スタッフですすいません。当時我々も性能維持施設はちょっと維持基準規則等に照らして、うまく抽出をし直そうというようなことをやっておりました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:16	ただし、D種抽出した後に、その中で10、重要なものについては施設定期自主検査とか定検の対象として、核的グレードの低いものは自主検査にするということを考えていたんですが、
0:53:32	そのときに、
0:53:34	性能維持する施設はすべからく定期検査の対象だというような見解を、
0:53:47	があって、先ほど言ったように検査の件数が増えるといったような、
0:53:51	ほぼコメントをいただいて、
0:53:51	不満。
0:53:53	一旦その話がなくなって今の、施設定期自主検査、定期検査の対象が、その移設になっているとして明記しているというような状況になっております。
0:54:07	間違いじゃない。
0:54:09	全部自説=1件の対象なんじゃない。それはそうなんですわね。
0:54:14	やり方の話の話だよ。じゃないのか。僕やり方の話だと思うんだけど。
0:54:23	平時政務施設に指定できない警察の方の件数がもしあるんだったらやるって話だったらわかりますんで。そうすると、それは大分点検周期伸ばせばいい。なるほど。そう。そう。時間的な構成にしちゃえばいい。
0:54:40	超大間想定にしちゃえばいい。うん。
0:54:44	なんか聞いてるともう本来選ばれているものが選ばれていますっていうふうな感じでは全くね、何か保全、保全の考え方と何かずれてる気もするし、何かめちゃくちゃになってませんかっていう心配を、
0:54:59	逆にしちゃったんだけど、何か件数が増えるから大丈夫ですねおかしきよね何か。
0:55:08	推進すタグチです。ただし現行の施設定期自主検査の項目という項目というか対象というのはやはり使用前検査の時に、
0:55:19	いろいろあって事業指定申請書に書かれてる重要な機器に対する件、重要な機能に関する検査というものが特に重要なものをやっているということで、
0:55:31	先ほど言ったように静的なものが明記されていないというものはありますが、施設の安全を維持する上で重要なものに特に重要なものについては、
0:55:41	抽出されていると考えております。関連じゃすぐ前なものが抜けているというものではないと考えております。番場マネージャの岩谷実は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:55	なんか今かなりわかりませんっていう説明を聞いている。
0:55:59	いうように感じてるんですけど。
0:56:07	いや、数字施策です。事業指定申請書に書かれているその安全を維持するようなものを、
0:56:17	すべてほぼが抽出されているということで主要な機能についてはカバーされているというふうに認識しています。
0:56:27	いやいや、全然性能維持施設工認対象全部決まってないじゃない。
0:56:34	その制定自主IIっていうのは何ですかっていうのを、
0:56:40	やっぱりもう一度出していただかないとやっぱり駄目なんじゃないかと。その上で、
0:56:46	僕らができる提案とすれば、大体検査の仕方であるとか、
0:56:52	あとは点検周期の伸ばし方とか、
0:56:57	あとはもうちょっと検査の簡素化とかね。
0:57:00	そういうのはご相談には乗れると思うんですよ。いわゆる検査側から見た場合においては、
0:57:08	だから、
0:57:10	何かちょっと違う気がするんだけどなアプローチが、
0:57:17	ていうのが我々の今の感想なんですけど、逆に不安なっちゃったっていう、大丈夫、大丈夫ですかっていうのが、
0:57:32	結構、
0:57:38	はいちょっと不安を与えてしまってるんですが安心していただけるようなちょっと説明資料を今後お見せしたいと思います。
0:57:48	多分最後ショートフォントみたいな感じになっちゃう。
0:57:53	それを待ってます。
0:57:57	すみません原子力機構の岡野です。
0:58:03	江藤。
0:58:04	確かに最後のまとめに書いてますように性能維持室の今の記載の仕方いろいろ経緯があって我々の今の小橋菅田と全然思っていないくて、あと行って不安な状況かというところもあって、
0:58:19	ただ今の学びもいいとは思っていないくてしっかり棚卸しというか整理し直していきたいというふうには以前から持ってますので、しっかりやりたいと思います。
0:58:30	ただやっぱり一方でその性能維持施設の決め方とかでやっぱり悩ましいところもあって、杓子定規に決めてしまうと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:43	やっぱり重要度の考え方とか、どこに境目を設けるかというところでやっぱり悩みがかなり出てきそうな気はしてますちょっとそこをしっかりとこちらで整理させていただいた上で、
0:58:56	その辺の決め方は相談に乗っていただければと思ってます。
0:59:02	一方で、やっぱりそうやって整理しても、炉と比較した場合に最初の場合はかなり複雑なもので、大量の性能施設が出てきてしまう。
0:59:13	ていうか実際もうすでに出てきてるんですけど、それ明確になってないからあまり大量に見えてないというところもあって、それを詳細化するとその書留体力的しもきてしまうとその中で、
0:59:23	やはり記念カーをどこまで、
0:59:28	どういう手続きでやるかっていうところはやはり整理させていただかないと、やはりちょっと破綻しそうな気がしますので、そこも含めて議論をしていきたいなと思ってます。そういう意味でその性能維持施設の整理と、
0:59:40	その許認可のルールその性能イシイ施設の該当するしないとあと性能維持施設の中であっても、やはりその重要度とか機能に応じて協議委員会の小野要否というのは、判断の基準が、
0:59:53	あってもいいんじゃないかというふうにしてそう意味で今日、二つの観点で整理させていただいたというところなんです。協議会の要望や、
1:00:04	検査の話は違うよね。
1:00:07	だから許認可の 400 許認可の容器で、我々も相談ありますけれども、
1:00:17	なんちゅうかな、検査のやり方、
1:00:20	またそれは違う話なので、
1:00:23	そこは理解してます。はい。うん。なんか岡部さんが何かごっちゃにして説明しちゃったから、わかんなくなっちゃったんで、
1:00:32	皆さんの表記は、はいご指摘の通りで衛藤。
1:00:37	最初に清な維持施設を綺麗に決めきれなかったっていうところの原因としてその検査を軸にし過ぎたというか、そういうところがありましたので、そこは
1:00:48	はい、その通りだと思います。
1:00:51	代田伊井での確認方法も含めて、やはり機能を持っているところはしっかり性能維持施設として整備した上で、それに対してどういう検査するのかというのは直接的なケースじゃなくても、いろいろやり方があると思

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	いますので、そこは整備できると思いますのでそこはしっかりやっていたいと思います。
1:01:11	性能維持施設なのに性能が維持されているかどうかわかりませんという状況にはさすがにできませんので、そこは何らかの本検査をしっかり整理していくってことに、そういうことでそういうことです。
1:01:25	はい。はい。そういうことを併せて、
1:01:30	併せて許認可の合理的なやり方っていうのもそこもお互い整理していきたいと思いますので。当然その生命施設しっかり決めれば先だろうっていうのは確かにそうだと思いますのでちょっと合わせて、
1:01:46	ちょっとちょっともうちょっとわかりやすく整理していききたいと思います。はい。はい。中野さんの話を聞いて安心しました。はい。
1:01:55	我々も案としました。
1:01:57	はい。
1:01:58	聞いたことですがけれども、この度で整理していくと今後その施設を壊して幾らになったときに、どこまで壊してってどこまで壊して駄目なのかっていうのが、
1:02:09	多分今の瀬野施設の方と、
1:02:11	もしかしたらはっきりしない可能性もあるので、あそこはやっぱり、そのそ廃措置進めていくっていう観点からも、その整理ってのは必要だと思うので、
1:02:22	そういった観点でもう整理していただきますようお願いします。
1:02:30	望月中根です。お話ししました。確かにあんまり性能維持引っ張りすぎると、例えば配管とか貯槽とかって例えばあるけど1000台あればもうそれそのもの内先生の取り込みとしての性能の維持が終わって、
1:02:45	ここで解体入っていくという状況になるかと思ってますそのそのどこまで維持するかっていうところの、期間もあるし、廃止措置計画の定めていきますけどその書き方が多分重要になってくると思いますので、そこも含めて考えていききたいと思います。
1:03:03	平常カトウですよろしくお願ひします。他よろしいでしょうか。
1:03:10	はい。それじゃ、こちらにつきまして引き続きよろしくお願ひします。最後にスケジュールのご説明をお願いします。はい。原子力イシダから66ページ。
1:03:24	対象の管理部会合ございますのでそのあとをね、一応は仕分けさせていただいて29日でお願ひできればと考えております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:34	4月以降のスケジュールにつきましては、また別途詳細化していきたい と思います。
1:03:40	今回の説明です。
1:03:45	規制庁加藤です面談の日程について承知いたしました。具体的な日、時 間につきましては、後程
1:03:57	担当を通じて調整させていただければというふうに思います。
1:04:01	議長からスケジュールについて何かありますでしょうか。すみません。 はい。はい。規制庁から以上ですけれども、原子炉機構の方から何かご ざいますでしょうか。
1:04:12	はい。
1:04:15	編集部機構からは特にございません。
1:04:18	はい。規制庁加藤ですありがとうございます。それでは本日の面談以 上にしたいと思いますどうもありがとうございました。
1:04:25	お願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。